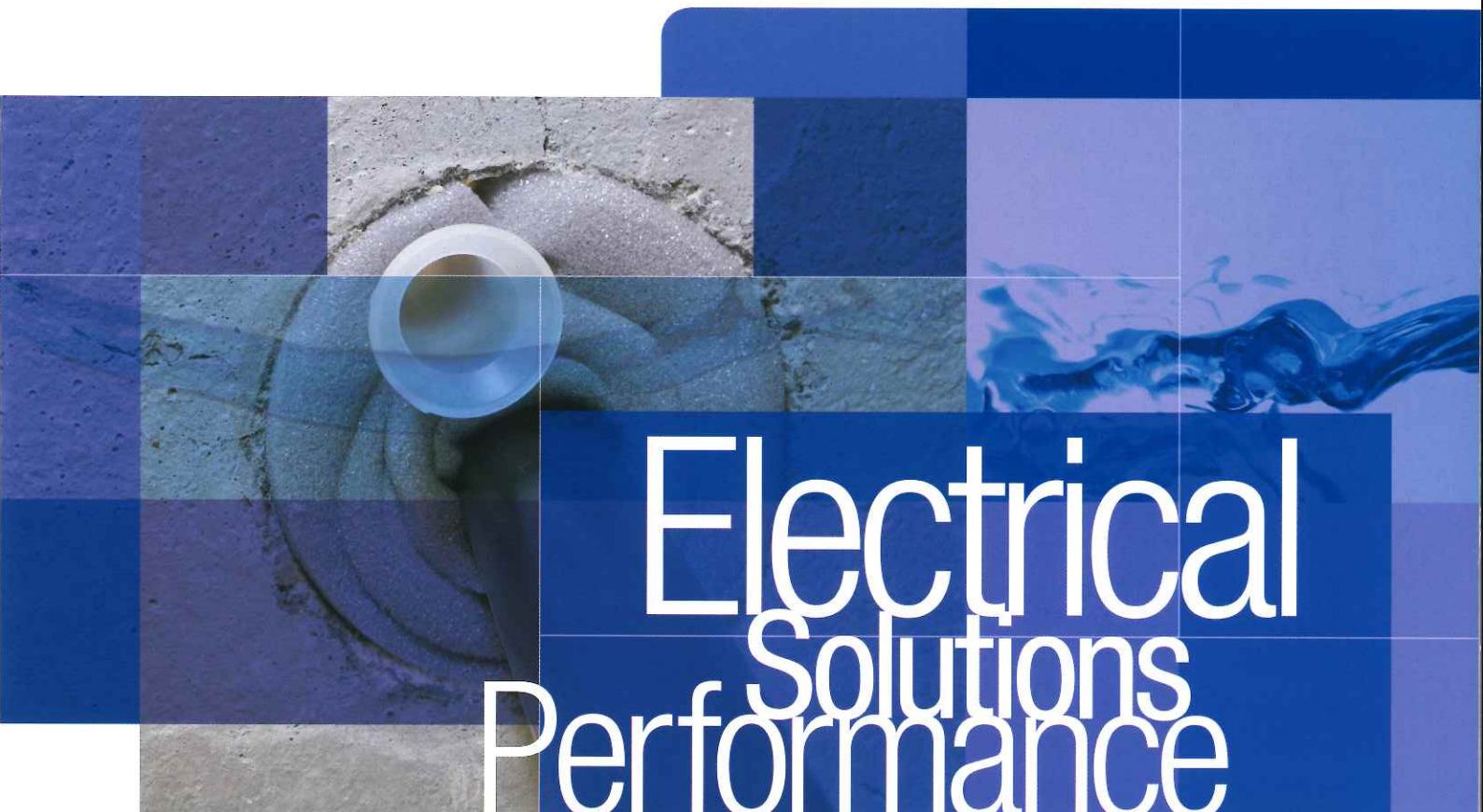
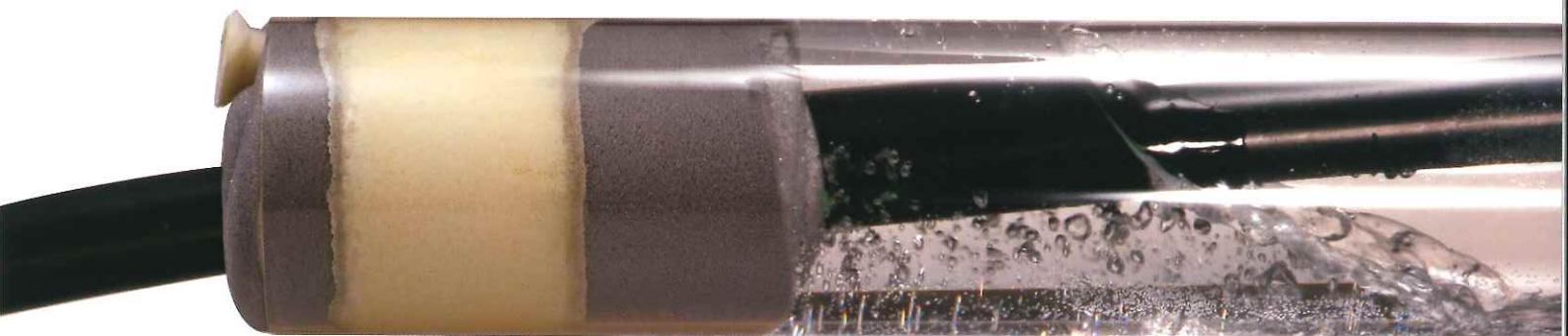


3M™ スコッチキャスト™
発泡シーラーキット 8816/8816-S
管路止水防水システム



Electrical
Solutions
Performance
Through Innovation



3M

新開発の発泡レジンで解体作業が従来品に
比べ楽になりました。
レジンがケーブルの隙間や管路内壁に密着
して止水します。

主な特長

1 簡単な施工と 解体作業

- 工法の見直しで止水部がコンパクトなサイズになりました。
- 新開発のレジンで解体時間が当社従来品の1/7になります。(当社測定結果)
- 施工にあたり特別な工具や装置は不要です。

2 高い止水力

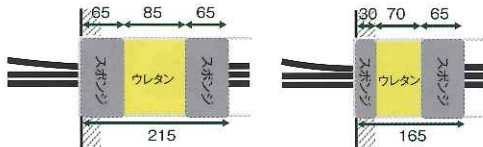
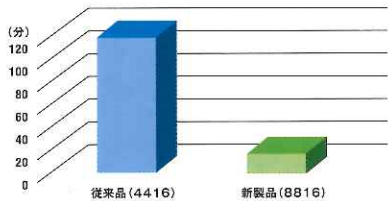
- 発泡力と密着力により高い止水効果を有します。



3 幅広い用途

- ケーブル管路の止水
- 床下からの電気室への湿気侵入防止
- 照明ポール内湿気浸入防止
- 小動物侵入阻止

発泡シーラーキット施工品の解体時間



従来品施工図

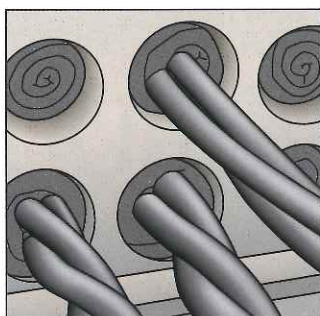
8816 施工図

耐水圧試験結果

印加水圧	0.098 MPa(水頭10m)
試験管路	溶融亜鉛メッキ鋼管
ケーブル	PEケーブル
試験時間	72時間
結果	水漏れなし

※外径15mmのPEケーブル3条
※試験結果は参考値で保証値ではありません

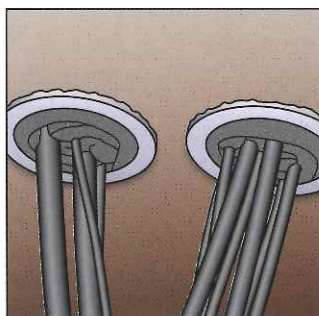
主な用途



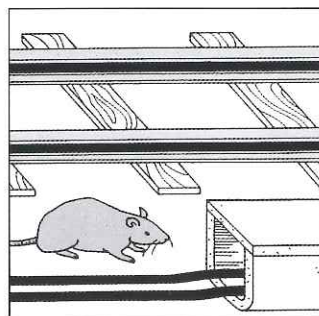
マンホール管路の止水処理



床下から電気室への湿気浸入防止



多数本のケーブルが入った管路の止水



ネズミ、ヘビなどの侵入防止

発泡ウレタンレジン基礎特性

項目	試験方法	数値
ゲルタイム	3M 法	3分
タックフリータイム	3M 法	15分
密度 (23℃)	3M 法	0.08Mg/m ³
圧縮強さ (10%変形)	JIS K 7220	40 N/cm ²
吸水量 (100gあたり)	JIS A 9511	0.4g
膨張率 (25℃)	3M 法	7~10倍

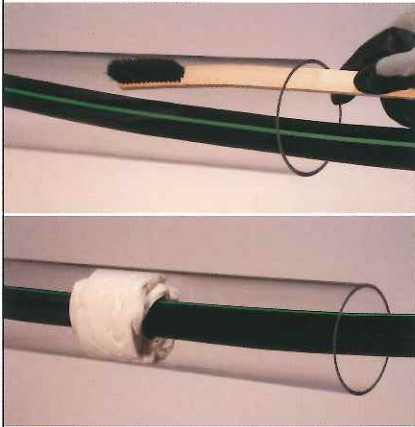
※数値は代表値で規格値ではありません



見やすくなった
レジンパッケージ

施工手順

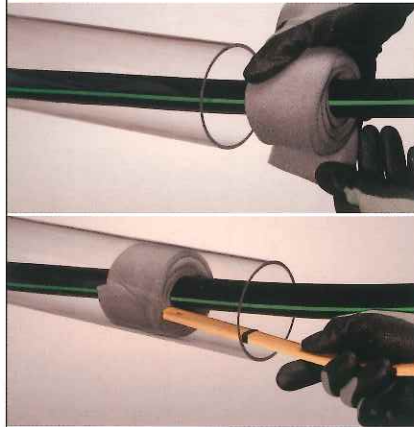
1 管路・ケーブル洗浄と仮止水



- 管路内壁、及びケーブルについている汚れをブラシで洗い落す。
- 洗い落した後、ウエスでできるだけきれいに拭きあげる。
- 管路口から水が流れ出ている場合は、管路口から200mm以上のところにウエスを詰めて仮止水する。

重要 汚れや水分のある場合には、十分な止水効果が得られない場合があります。特にシリコン系のケーブル潤滑剤などを使用した場合は、確実に拭きとってください。

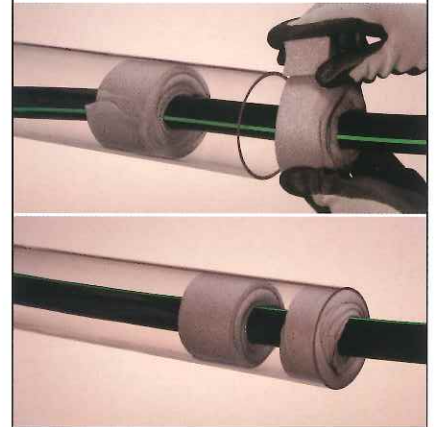
2 奥側のスポンジ巻付けと挿入



- ケーブルを束ね、太い方のスポンジ1本を管路内径より少し大き目に巻く
- ブラシを使って管路口から100mm (8816の場合) / 80mm (8816-Sの場合)の位置までスポンジを押し込む。
- 必要に応じケーブル間の離隔を取りながら作業を進める。

重要 発泡したレジンが隙間から洩れると十分な止水効果が得られない場合があります。十分に隙間を埋めてください。

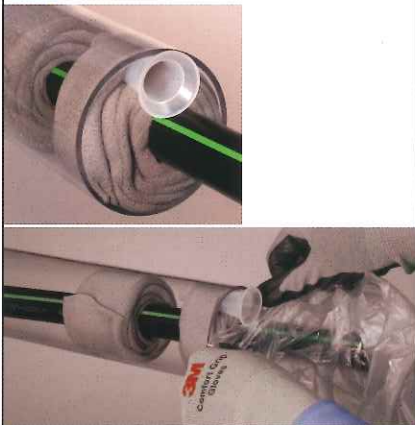
3 手前側スポンジ巻きつけと挿入



- 細い方のスポンジをケーブル全体に巻き付ける。管路内径より少し大き目に巻く。
- スポンジが管路口と面になる位置まで押し込む。
- ケーブルが複数本の場合には、ケーブル間の隙間にスポンジやウエス等を小さく切り、詰める。
- ケーブル間の離隔を取りながら作業を進める。

重要 発泡したレジンが隙間から洩れると十分な止水効果が得られない場合があります。十分に隙間を埋めてください。また、ケーブル同士が密着した状態ですと、レジンがケーブル間に充填されない可能性があります。ケーブル同士が密着しないようにスポンジやウエス等を詰め込んで下さい。

4 レジン充填準備



- スポンジを貫通するように、レジン充填/排出用パイプを管路上部のスポンジの間に差し込む。
- レジン充填/排出用パイプから溢れてくるレジンを受けるため、ポリ袋等を取り付ける。

重要 必ずパイプの位置は管路の上部に設置し、パイプが上に向かないよう設置してください。パイプが正しい位置に設置されない場合、十分にレジンが充填されない場合があります。

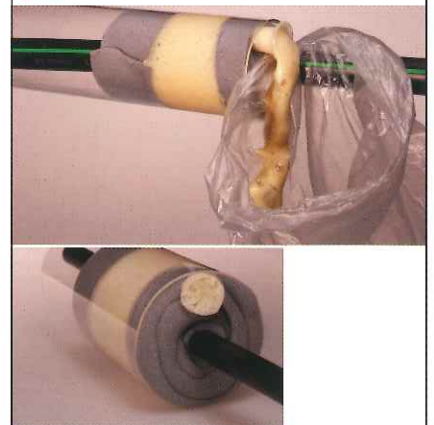
5 レジンの混合及び注入



- アルミガードバックからレジンバックを取り出す。
- 取扱説明書の手順にしたがって、中央の仕切りをはがしレジンを良く混合する。
- 注入ノズルの先端でアルミ栓を突き破り、ノズル先端部分を切ったのち、速やかに注入ノズルを本体に装着して注入作業に移る。
- レジンバックに装着した注入用ノズルをパイプにしっかりと挿入し、レジンを全量注入する。

重要 施工前に必ず同梱のレジンの取扱説明書をよく読んでください。

6 発泡・硬化確認



- レジン注入後しばらくして、パイプから発泡したレジンが溢れ出てくることを確認する。
- レジンを注入し1時間以上経過した後、レジン充填/排出用パイプからレジンが溢れなくなったことを確認し、ポリ袋を取り外す。レジン充填/排出用パイプを端面部でカットする。

重要 レジンが完全に硬化するまで(常温で3時間)、ケーブルを動かさないよう注意して下さい。未硬化の状態ですと、レジンと管路・ケーブルとの密着性を損ない十分な止水力が得られない可能性があります。

レジン(セパレートパック)の混合方法



1 仕切りをはがす

- 仕切りの両側を両手で握り、両手の親指を上から下へ仕切りに押し込むようにして、仕切りをはがします。



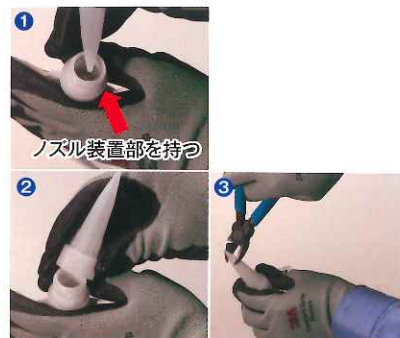
2 混合する

- ① 2液を手でもむようにして袋の中で混合します。
 - ② 四隅のレジン是指でしぼりだし、よく混合してください。
 - ③ 反応が始まり小さな気泡で全体的に色が白っぽくなり始めたら、混合を止めてください。
- 混合不足の場合、所定の発泡倍率が確保できない可能性があります。下記の混合時間を参考によく混合してください。

混合時間目安： 11 ~ 20℃...70秒
21 ~ 30℃...60秒

- 混合開始と同時に2液の反応が始まりますので、混合後は速やかに注入作業に移ってください。

注意 レジンは30℃以下で保管して下さい。30℃以上になった場合には、涼しい場所で冷却させた後に、混合してください。



3 アルミ栓を破り、注入ノズルを装着後、先端部をカットする

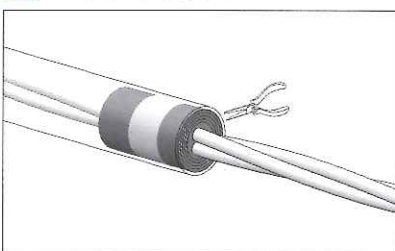
- ① 混合が終わったら速やかに、片手で袋のノズル装着部を持ちレジンがこぼれないよう上に向け、注入ノズルを使ってノズル装着部に付いているアルミ栓を、突き刺して破ってください。
 - ② 速やかにノズルを袋に装着する。
 - ③ ノズルの先端部分にある3本の線のうち真中の線で切ってください。
- 注入用ノズルをカットしたら、速やかにノズルをレジン注入/排出用パイプに差し込み(8816/8816-Sキット使用の場合)、しっかりと絞り出しながらレジンを注入してください。

注意

- 袋を持つ手は必ず袋のノズル装着部を支え、レジンの入った部分を握らないでください。アルミ栓を突き刺して破ったり、ノズル先端を切る際に、レジンが飛び出すおそれがあり危険です。
- アルミ栓を突き刺し破る際は、必ずキットの注入用ノズルを使用してください。

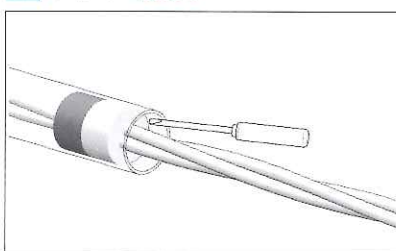
解体方法

1 スポンジ除去



- ラジオペンチ等を用いて、手前側のスポンジを取り去る。

2 レジン除去



- マイナスイドライバーやヘラなどを使用し、レジンと奥側のスポンジをかき出すようにして除去する。

重要 レジンやスポンジをかき出し時にケーブルシースへ傷がつかないように注意してください。

2015年7月現在

仕様および外観は事前の予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載されている事項、技術上の資料並びに推奨は全て当社の信頼する実験に基づいておりますが、その正確性について保証するものではありません。使用者はその使用に先立って製品が自己の用途に適合するかどうかを判断し、それに伴う危険と責任の全てを負うものとします。売主および製造者の義務は不良であることの証明をされた製品をお取替えることに限定され、それ以外の責任は負いかねます。また本書に記載されていない事項もしくは推奨は、売主及び製造者の役員が署名した契約書に書かない限り当社は責任を負いかねます。

3M、スコッチキャストは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
通信・電力マーケット事業部
<http://www.mmm.co.jp/telecom/>

Please Recycle. Printed in Japan
Copyright © 2015 3M. All Rights Reserved.
TCS-118-B (0715015) PN

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
 **0570-012-321**
ナビダイヤル[®] 市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)